

科目	単位	時間	履修学年	講師名
老年看護援助論Ⅰ	1	30	2	山崎 尚美・鈴木 雅司
ねらい	高齢者の生命維持、健康生活の維持に必要な看護技術の基礎を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	1. 高齢者のヘルスアセスメント (第 4 章)			講義 山崎
2 回目	1) 皮膚と付属器のアセスメント			講義 鈴木
3 回目	2) 循環器系・呼吸器系・消化器系のアセスメント			講義 鈴木
4 回目	3) ホルモン分泌・運動器系・泌尿器系のアセスメント			講義 鈴木
5 回目	2. 健康逸脱からの回復を促す看護 (第 6 章)			講義 山崎
6 回目	1) 発熱・疼痛・掻痒感・脱水			講義・演習 山崎
7 回目	2) 嘔吐・浮腫・倦怠感・褥瘡			講義・演習 鈴木
8 回目	3. 高齢者の生活機能を整える看護(第 5 章)			講義 鈴木
9 回目	1) 日常生活を支える基本的活動			講義 鈴木
10 回目	食事排泄清潔生活リズムコミュニケーション			講義 鈴木
11 回目				
12 回目	4. 高齢者のリスクマネジメント(第 10 章)			講義 鈴木
13 回目	1) 高齢者と医療安全			講義 鈴木
14 回目	2) 高齢者と救命救急			講義 鈴木
14.5 回目	3) 高齢者と災害			講義 山崎
(45 分)				
15 回目	終講試験			試験
教科書	(1)老年看護学 概論と看護の実践 (ヌーベルヒロカワ) (2)老年看護技術 アセスメントのポイントとその根拠 (ヌーベルヒロカワ) (3)生活機能からみた 老年看護過程+病態機能関連図 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1 時間 【45 分間】: 100 点)			
備考	高齢者の特徴をとらえながら、その人らしく生活するために必要な基本技術を学ぶ科目です。1 年生で履修した老年看護学概論と基礎看護技術を復習し、授業に臨んでください。			